

岡山県北地域の農泊地域との意見交換会へ
インターンシップ学生が参加

岡山県真庭市と岡山県美作市において、国重の森活性化協議会と右手地域農泊推進協議会との岡山商科大学の学生が参加し、農泊地域の現状と課題、今後の取り組みについて説明及び意見交換会を実施。

1. 協議会の概要

(1) 国重の森活性化協議会

森林維持をするために地域の合意形成を図り、森パークを中心に農泊の推進が行われている。森パークを活用し、モニターツアーや地元山主さんによる座談会の実施、地元食材を用いた食事の提供などに取り組んでいる。また、7月にゲストハウス michikusha がオープンし、宿泊者の受け入れが始まった。これらの取り組みによって、森林の維持管理及び入山者の増加に繋がるとともに、農業所得以外の所得増加や農泊をきっかけに林業従事者の増加を目指す。

(2) 右手地域農泊推進協議会

中右手集落は、地元住民と移住者が協力して、パブリックハウスサウナ久米屋の運営を行っている。3月には、森の展示室 ute を開催し、アーティストが地域に滞在する仕組みを作っている。また、「ろくろ」や「みつまた」を使い、作品づくりを体験することができる。さらには、右手養魚センターでは、ヤマメ(方言でひらめ)を釣ったり、食べたりする体験があり、周囲では宿泊施設があるため自然を全力で感じることができる。

2. 意見交換会の概要

(1) 国重の森活性化協議会

- ・開催日時 令和8年8月24日(月曜日) 13時から15時
- ・開催場所 ゲストハウス michikusha
国重森パーク

- ・内容

- ① ゲストハウス michikusha 見学
- ② 意見交換
- ③ 国重森パークの見学

(2) 右手地域農泊推進協議会

- ・開催日時 令和8年8月25日(火曜日) 11時から14時
- ・開催場所 パブリックハウスサウナ久米屋
右手養魚センター
共和林業
木地師の館

・内容

- ① パブリックハウスサウナ久米屋の見学及び意見交換
- ② 右手養魚センター・共和林業・木地師の館の見学

(3) 参加者

岡山商科大学 経済学部経済学科 1年生 1名



ゲストハウス michikusya



右手養魚センター

3. 参加したインターンシップ学生の感想

農泊は、「食事」、「体験」「宿泊」のすべてを楽しむことができます。今回訪れた協議会はどちらもファンづくりに注力しています。国重の森活性化協議会は、森の中で非日常の体験をすることができるので、老若男女問わず、楽しめる場所ではないかと思いました。一方で、右手地域農泊推進協議会は、釣り、キャンプ、サウナといったアドベンチャーツーリズムが充実しています。また、中右手集落では20世帯30人であるものの、成長と分配が行われている先進的な事例だと思いました。

意見交換会を通じて、集客を行い、関係人口の創出を行う重要性について理解することができました。そして、農泊を軸に地域経済が活性化されることを再認識しました。